

# 持続可能な航空燃料（SAF）等の安定的・効率的な 生産技術開発事業

## 公募説明資料 （公募概要）

2025年4月21日(月)

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
再生可能エネルギー部 バイオマスユニット

- 本資料は注意すべき点について、抜粋して説明しております。
- 詳細については、HPに掲載されている公募要領の記載事項をご確認ください。

## ご注意

- 本事業への応募は、NEDOへの提出に加え、**府省共通研究管理システム（e-Rad）**への研究機関及び研究者※代表者登録、応募基本情報の入力が必要です。**（機関承認が必要な事業です）**
- **e-Rad**で登録手続きを行わないと応募ができません。研究登録手続きに時間を要する場合がありますので、余裕をもって登録手続きをしてください。  
（提案書・申請書ご提出日までには登録手続きを完了して下さい）
- 応募内容提案書は代表して一法人からの登録となりますが、**法人ごとにIDの取得が必要**となります。
- 今回の事業への申請に当たって、公募要領を入手し、電子申請を行い、登録した「応募基本情報」をダウンロードし提出して下さい。

※本公募要領での研究者、研究機関は実施者、実施事業者を示すものとします

1. 背景
2. 事業の概要
3. 応募要件
4. 実施要件
5. 応募方法
6. 採択先の選定
7. 問い合わせ先

参考資料①：提案書について

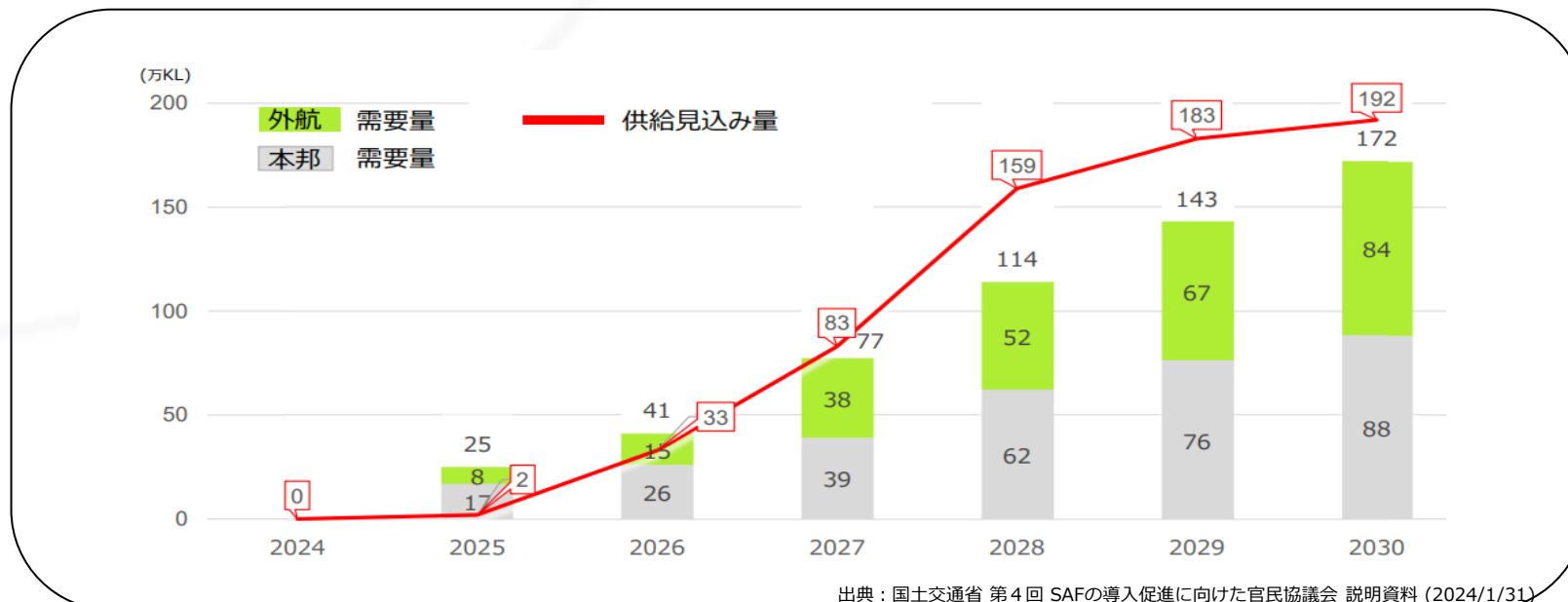
参考資料②：提案説明書について

# 1. 背景

## 2030年に向けた国内動向

- ✓ 2030年時点で燃料消費量の**10%をSAF**に置き換える目標。  
**172万kL/年の需要**に対して**192万kL/年の供給**を見込む
- ✓ 上記供給は**廃食油等**由来の**HEFAプロセス**、**第一次世代エタノール**等由来の**ATJプロセス**で生産されたSAFが主となる。

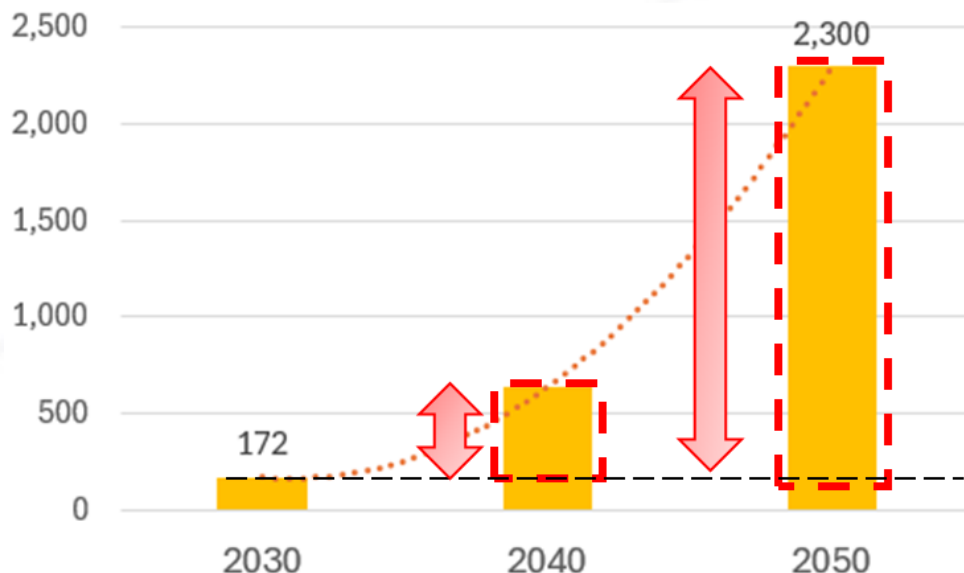
SAF需給の見込み



## 2030年以降の動向予測

- ✓ 2030年以降も**SAFの需要は拡大**し、安定供給が可能かは不透明。
- ✓ 廃食油や第一世代バイオエタノール以外の**幅広い原料調達網の確保**、HEFAやATJ以外の**次世代生産技術の確立**が求められる

2030年以降のSAF需要予測



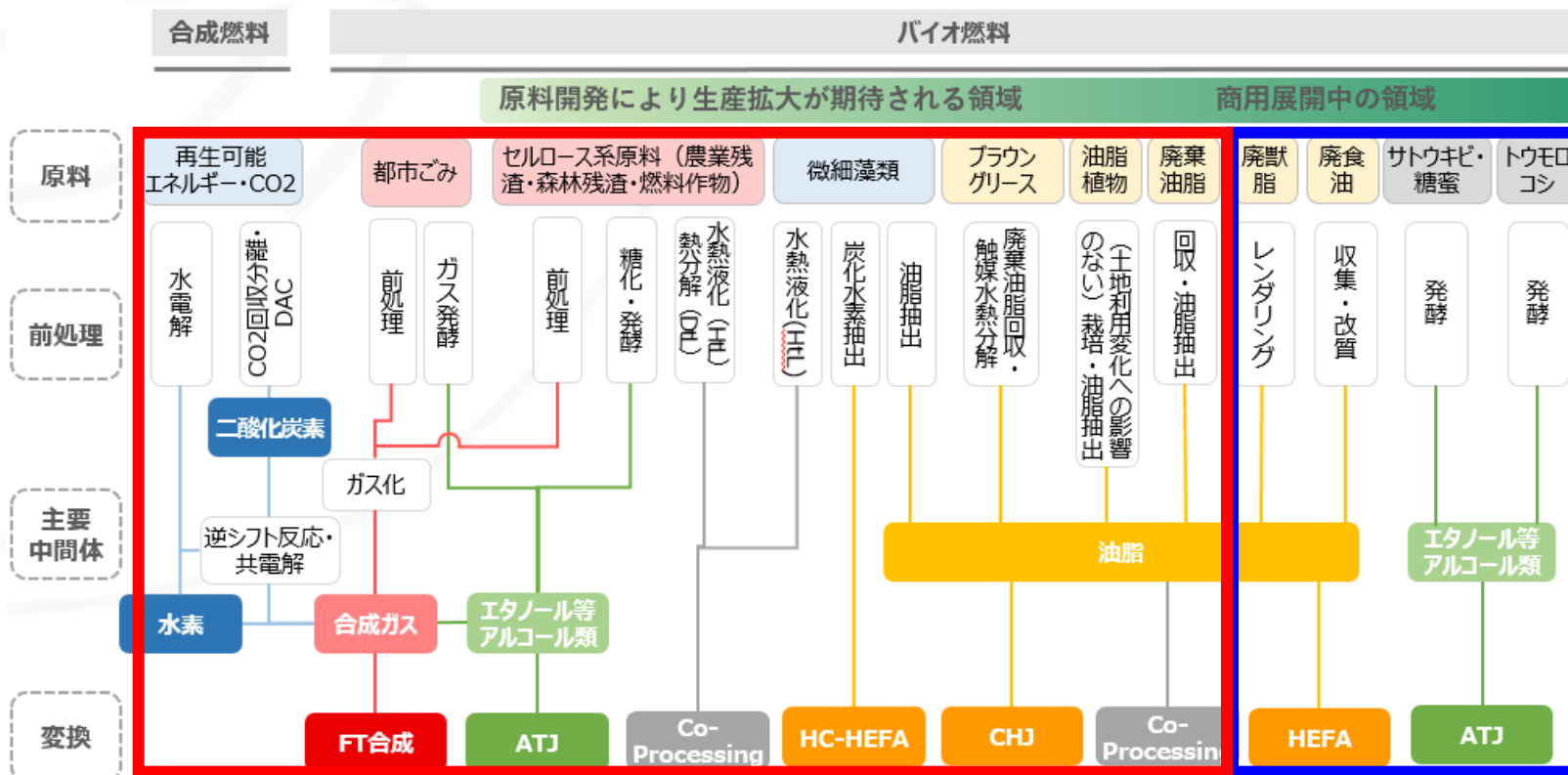
2030年以降  
SAF需要がさらに拡大

👉原料・生産技術の  
多様化が重要

2050年 航空輸送におけるCO<sub>2</sub>排出実質ゼロへ向けて JAL/ANA共同レポートを基にNEDO作成

# 1. 背景

## SAF原料と生産プロセスの組み合わせ



**2030年までに導入が見込まれる分野**

**2030年以降に導入が見込まれる分野**

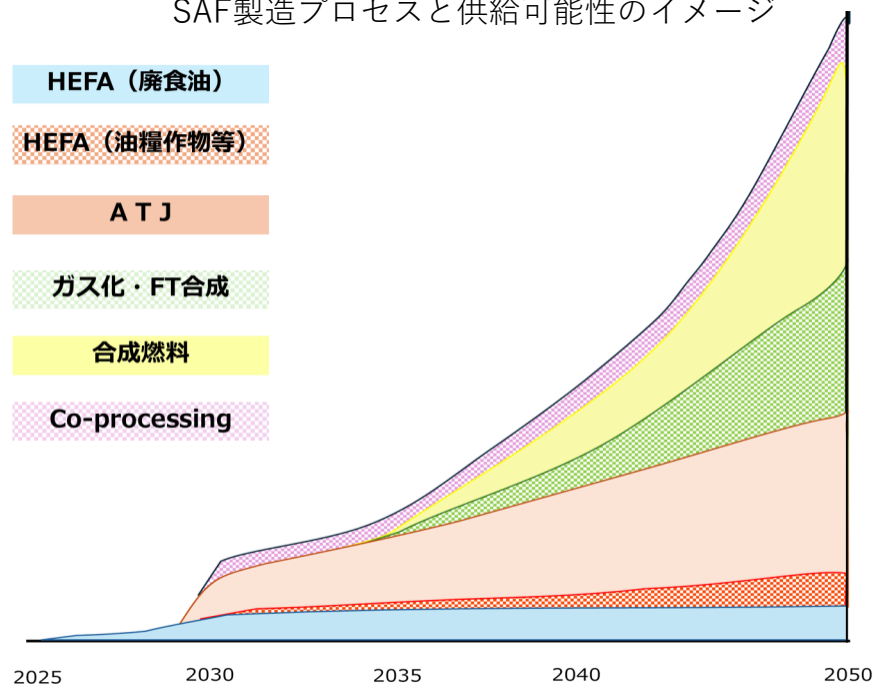
出所：バイオジェット燃料生産技術開発事業／技術動向調査／国内外におけるSAFの製造技術ならびに低コスト化技術に係る動向調査（委託先：MRI）

# 1. 背景

## 将来のSAFの製造技術予測

✓ SAF製造プロセスについては、2030年まではHEFA（廃食油）、ATJの導入が先行することが想定される。2030年以降はそれらに加え、**Co-processing**の導入や、**油糧作物等のSAF原料のHEFAへの適用**が具体化することが見込まれる。2035年頃からは、セルロース系原料の**ガス化・FT合成**への適用や、**合成燃料**による供給が始まることが想定される。

SAF製造プロセスと供給可能性のイメージ





## 2. 事業の概要

事業名称：SAF等の安定的・効率的な生産技術開発事業  
2025年度～2029年度（5年間）

公募要領（本文） p.1-4

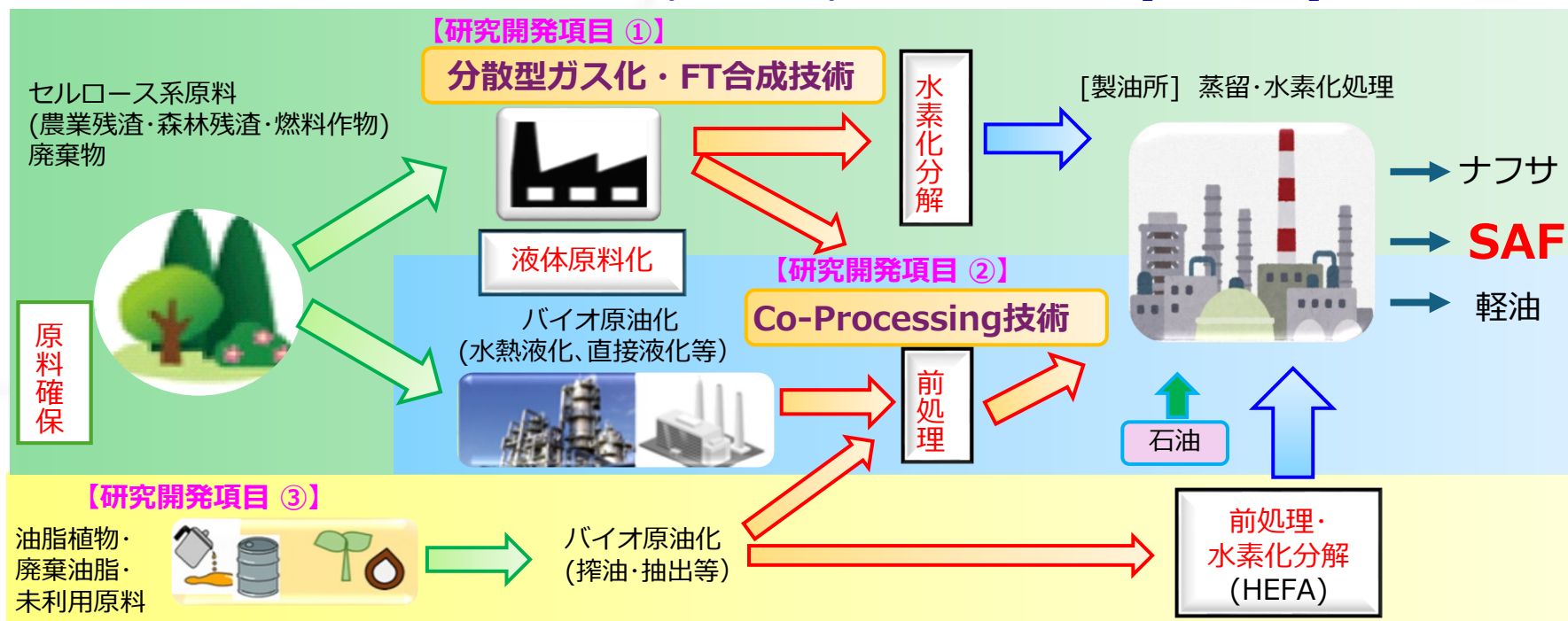
- ① 多様な原料を利用可能なSAF製造技術の開発
- ② 革新的なSAF等製造技術の開発
- ③ SAF原料の多様化

<原料多様化>

<液体原料化（含前処理）>

[ Co-Pro ]

<規格・認証>



## 2. 事業の概要

### 【基礎情報】

- ★事業期間 : FY2025 – FY2029 の5年間
- ★予算総額 : 総額50億円程度（見込）  
※FY2025：2.4億円

### 【実施内容】

開発項目	実施項目	事業形態	想定規模	期間
①多様な原料を利用可能なSAF製造技術の開発	多様な原料を想定したガス化・FT合成技術の改良・高度化	助成 (大企業1/2 中小企業等2/3)	約20億円 (前半台)	3-5年
	国内未利用資源を活用した事業性調査	委託	数千万円	2年
②革新的なSAF等製造技術の開発	コプロセッシングを用いた革新的なSAF製造技術の開発	委託	約20億円 (前半台)	3-5年
③SAF原料の多様化	パーム残渣、油糧作物、燃料作物等の原料調達	助成 (大企業1/2 中小企業等2/3)	数億円	3-5年

## 2. 事業の概要



開発項目	内容・技術例	到達目標
①多様な原料を利用可能なSAF製造技術の開発	<p><u>内容:</u> バイオマスのガス化・FT合成技術の改良・高度化など</p> <p><u>技術例:</u> FS、地域分散型でのバイオマス調達、前/後処理、ガス化・FT合成プロセス改善、LCGHG・コスト評価</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>前/後処理、プロセス等の要素技術の改良・高度化</li><li>地域分散型モデルの構築など</li></ul>
②革新的なSAF等製造技術の開発	<p><u>内容:</u> Co-processing等の国内未開発技術の開発</p> <p><u>技術例:</u> FS、前/後処理、混合処理技術の開発、LCGHG・コスト評価</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>革新技術の確立とパイロット規模での試験運転など</li><li>目標収率：既存石油原料処理対比97%</li></ul>
③SAF原料の多様化	<p><u>内容:</u> 賦存量の制約がある廃食用油に代替する新規原料の開発</p> <p><u>技術例:</u> 原料の開拓・収集、前処理、収集-運搬までのSC体制構築</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>将来的に1万トン/年以上の原料安定調達できるポテンシャルを有する未利用原料を見出す</li><li>新規原料のSCモデル構築</li><li>前処理技術の開発</li><li>CORSIA等の国際認証取得に必要なデータの取得など</li></ul>

## 3. 応募要件

### ◆ 委託対象事業者

公募要領（本文） p.4-5

応募資格のある法人は、次の（1）～（7）までの条件、「基本計画」及び「2025年度実施方針」に示された条件を満たす、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。

- （1）当該技術又は関連技術の研究開発の実績を有し、かつ、研究開発目標達成及び研究計画遂行に必要となる組織、人員等を有していること。
- （2）委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- （3）NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。
- （4）企業等が事業に応募する場合は、当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。
- （5）研究組合、公益法人等が応募する場合は、参画する各企業等が当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有するとともに、応募する研究組合等とそこに参画する企業等の責任と役割が明確化されていること。
- （6）複数の企業等が共同して事業に応募する場合は、実用化・事業化に向けた各企業等間の責任と役割が明確化されていること。
- （7）本邦の企業・大学等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業・大学等（研究機関を含む）の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外の企業・大学等との連携が必要な場合は、国外の企業・大学等も参画する形で実施することができる。

## 3. 応募要件

### ◆ 助成対象事業者

公募要領（本文） p.5-6

助成事業者は、次の要件を満たす、単独ないし複数で助成を希望する、本邦の企業、大学等の研究機関であることが必要です。

- (1) 助成事業を的確に遂行するに足る技術的能力を有すること。
- (2) 助成事業を的確に遂行するのに必要な費用のうち、自己負担分の調達に関し十分な経理的基礎を有すること。
- (3) 助成事業に係る経理その他の事務についての的確な管理体制及び処理能力を有すること。
- (4) 当該助成事業者が遂行する助成事業が、別途定める基本計画を達成するために十分に有効な研究開発を行うものであること。
- (5) 当該助成事業者が助成事業に係る企業化に対する具体的計画を有し、その実施に必要な能力を有すること。
- (6) 本邦の企業・大学等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業・大学等（研究機関を含む）の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外の企業・大学等との連携が必要な場合は、国外の企業・大学等も参画する形で実施することができる。

## 4. 実施要件

### ◆ 委託対象事業

公募要領（本文） p.5

本事業は、採択後、業務委託契約を締結します。業務委託契約の締結にあたっては、最新の「業務委託契約約款」を適用します。その他必要に応じて、特別約款の適用を求める場合があります。また委託業務の事務処理においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。

事業の実施にあたっては、該当する約款及びマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

【参考】 委託事業の手続き：約款・様式

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

委託事業の手続き：マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

## 4. 実施要件



### ◆ 助成対象事業

公募要領（本文） p.6

本事業は、採択後、「課題設定型産業技術開発費助成金交付規程」に沿って、交付申請書等を作成いただき交付決定を行います。助成事業の事務処理においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。事業の実施にあたっては、該当する交付規程及びマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

【参考】助成事業の手続き：交付規程・様式

[https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\\_josei\\_koufukitei\\_koufukitei.html](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_koufukitei_koufukitei.html)

助成事業の手続き：マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>



# 5. 応募方法



## 公募要領（本文） p.6

公募要領に従い提案書を作成し、その他提出書類とともに以下の提出期限までにアップロードを完了させてください。  
(原則、持参、FAX又は電子メールによる提出は受け付けません)

【提出期限】 **2025年5月15日（木） 正午 アップロード完了**  
※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトの公募ページ上でお知らせいたします。

【提出先】 Web 入力フォーム  
<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/qbxuemab23xe>

【提出方法】  
提出先のWeb 入力フォームに次ページの①～⑪を入力し、⑫をアップロードしてください。  
⑫でアップロードするファイルは提出書類毎（全てPDF形式）に作成し、一つのzipファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けなくてください。

提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。再提出の場合は、再度、全資料を再提出してください。

提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。



# 5. 応募方法



## Webフォーム入力項目

公募要領（本文） p.7

- ① 提案テーマ名
- ② 代表法人名称及び共同提案法人名称（共同提案の場合は、提案法人名を列記）
- ③ 代表法人連絡担当者氏名
- ④ 代表法人連絡担当者所属部署・職名
- ⑤ 代表法人連絡担当者電話番号
- ⑥ 代表法人連絡担当者 E-mailアドレス
- ⑦ 研究開発の概要（1,000 文字以内）
- ⑧ 技術的ポイント（300 文字以内）
- ⑨ 責任者名（所属部署・職名含む）（法人毎に列記。委託事業の場合は研究開発責任者（共同提案の場合の研究開発統括責任者候補含む）、助成事業の場合は主任研究者）
- ⑩ 利害関係者
- ⑪ 初回の申請受付番号（再提出の場合のみ）
- ⑫ 提出書類（次ページ参照）

# 5. 応募方法



## 提出書類

公募要領（本文） p.8

### 【委託事業の場合】

- ✓ 別添1：提案書
- ✓ 別添2：研究開発統括責任者候補及び研究開発責任者の研究経歴書
- ✓ 別添3：企業情報
- ✓ 別添4：ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
- ✓ 別添5：NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票
- ✓ 提案説明書（採択審査委員会用プレゼン資料）
- ✓ e-Rad応募内容提案書
- ✓ 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書（製造原価報告書、販売費及び一般管理費明細書を含む）、株主（社員）資本等変動計算書）（※）

#### 【留意事項】

（※）「株主（社員）資本等変動計算書」については、会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び合名会社に該当する場合にのみ提出ください。なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出や代表者面談を求める場合があります。

# 5. 応募方法



## 提出書類

公募要領（本文） p.8-9

### 【助成事業の場合】

- ✓ 別添1：提案書
- ✓ 別添2：主任研究者研究経歴書
- ✓ 別添3：申請者情報
- ✓ 別添4：ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
- ✓ 別添5：事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明資料（任意）
- ✓ 提案説明書（採択審査委員会用プレゼン資料）
- ✓ e-Rad応募内容提案書
- ✓ 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書（製造原価報告書、販売費及び一般管理費明細書を含む）、株主（社員）資本等変動計算書）（※）

#### 【留意事項】

（※）「株主（社員）資本等変動計算書」については、会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び合名会社に該当する場合にのみ提出ください。なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出や代表者面談を求める場合があります。

# 5. 応募方法



## 提出にあたっての留意事項

公募要領（本文） p.9

- 提出書類は日本語で作成してください。
- 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- 無効となった提出書類は、NEDOで破棄させていただきます。
- 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。（受付番号の表示は受理完了とは別です。）入力・アップロード等の操作途中で提出期限になり完了できなかった場合は、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。
- 提出時に受付番号を付与します。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。また、再提出の場合は再度、全資料を再提出してください。
- 同一の提案者から複数の提出書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 6. 採択先の選定



### (1) 審査の方法について

公募要領（本文） p.9-10

- 外部有識者による採択審査委員会とN E D O内の契約・助成審査委員会の二段階で審査します。
- 契約助成委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。
- 必要に応じてヒアリング審査や資料の追加等をお願いする場合があります。(ヒアリング審査は6月上旬を想定)
- 採択先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられません。

# 6. 採択先の選定

## (2) 採択審査の基準

公募要領（本文） p.10

### 【委託事業の場合】

- i. 事業の適合性
  - ・ 本事業の目的・目標に適合しているか 等
- ii. 開発の優位性
  - ・ 開発内容に新規性・優位性等があるか 等
- iii. 計画の妥当性
  - ・ 達成目標が明確で、スケジュールが効率的・効果的か 等
- iv. 実用化・事業化の取組
  - ・ 実用化・事業化のターゲットが明確で、それに向けた取組に実現性・実行性があるか、社会・経済への波及効果が期待できるか 等
- v. 実施体制・能力
  - ・ 役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか等
- vi. 提案の経済性
  - ・ 予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等)
- vii. 総合評価

## 6. 採択先の選定

### (2) 採択審査の基準

公募要領（本文） p.11

#### 【助成事業の場合】

- i. 事業の適合性
  - ・ 本事業の目的・目標に適合しているか 等
- ii. 開発の優位性
  - ・ 開発内容に新規性・優位性等があるか 等
- iii. 計画の妥当性
  - ・ 達成目標が明確で、企業化を見据えた効率的・効果的な開発スケジュールか 等
- iv. 企業化計画
  - ・ 事業化のターゲットが明確で、企業化計画が具体的かつ実行性があるか、産業創出効果や売上見通しに実現性があるか 等
- v. 実施体制・能力
  - ・ 役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか 等
- vi. 提案の経済性
  - ・ 予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等
- vii. 総合評価

## 6. 採択先の選定

### (3) 契約・助成審査委員会の選考基準

#### 【委託事業の場合】

公募要領（本文） p.10-11

次の基準により委託予定先を選考するものとする。

- i. 委託業務に関する提案書の内容が次の各号に適合していること。
  1. 開発等の目標がNEDOの意図と合致していること。
  2. 開発等の方法、内容等が優れていること。
  3. 開発等の経済性が優れていること。
- ii. 当該開発等における委託予定先の遂行能力が次の各号に適合していること。
  1. 関連分野の開発等に関する実績を有すること。
  2. 当該開発等の行う体制が整っていること。（再委託予定先等含む。）
  3. 当該開発等に必要な設備を有していること。
  4. 経営基盤が確立していること。
  5. 当該開発等に必要な研究者等を有していること。
  6. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

なお、委託予定先の選考に当たってNEDOは、以下の点を考慮します。

1. 優れた部分提案者の開発等体制への組み込みに関すること。
2. 各開発等の開発等分担及び委託金額の適正化に関すること。
3. 競争的な開発等体制の整備に関すること。
4. 一般社団法人若しくは一般財団法人又は技術研究組合等を活用する場合における役割の明確化に関すること。



## 6. 採択先の選定

### (3) 契約・助成審査委員会の選考基準

#### 【助成事業の場合】

公募要領（本文） p.11-12

助成金の交付先は、次の基準により選考するものとする。

- i. 提案書の内容が次の各号に適合していること。
  1. 助成事業の目標がNEDOの意図と合致していること。
  2. 助成事業の方法、内容等が優れていること。
  3. 助成事業の経済性が優れていること。
- ii. 助成事業における助成事業者の遂行能力が次の各号に適合していること。
  1. 関連分野の事業に関する実績を有すること。
  2. 助成事業を行う人員、体制が整っていること。
  3. 助成事業の実施に必要な設備を有していること。
  4. 経営基盤が確立していること。
  5. 助成事業の実施に関してNEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

## 6. 採択先の選定

### (4) 選定スケジュール

公募要領（本文） p.12

2025年

- 4月14日 : 公募開始
- 5月15日 : 公募締め切り
- 6月上旬（予定） : 採択審査委員会（外部有識者による審査）
- 6月中旬（予定） : 契約・助成審査委員会
- 6月下旬（予定） : 採択先決定
- 7月上旬（予定） : 公表
- 7月中旬（予定） : 契約締結・交付決定

## 7. 問い合わせ先



公募要領（本文） p.13

提案に係る手続きに関する質問に限り

2025年4月22日（火）から4月28日（月）までの間

下記宛にメールにて受付けます。

件名に「**持続可能な航空燃料（SAF）等の安定的・効率的な生産技術開発事業に関する問い合わせ**」と記載の上、以下の宛先にお送りください。

※審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

再生可能エネルギー部 バイオマスグループ 矢野、藤本、原、高岡

mail : [nedo.biofuel@ml.nedo.go.jp](mailto:nedo.biofuel@ml.nedo.go.jp)

参考資料①

# ～提案書について～

# 実施計画の細目（委託事業の場合） 事業目的・事業目標・事業概要・事業内容



## 別添 1

### ①事業目的

基本計画、公募要領等の内容を踏まえた上で、本提案の目的や実施意義を具体的かつ簡潔に記載してください。

### ②事業目標

本提案全体で達成すべき中間目標（性能、定量的な検討件数等）や最終目標（性能、定量的な検討件数等）等について、具体的に記載してください。設定根拠・理由も簡潔に記載してください。

### ③事業概要

「④事業内容」の概要を200～250字以内で簡潔に記載してください。

### ④事業内容

「②事業目標」を達成するために解決すべき技術的課題やそれを解決する手法、提案内容の技術的優位性やその根拠など、提案する研究開発内容を具体的かつ分かりやすく記載してください。

本提案で掲げる「②事業目標」や提案する研究開発内容が、NEDOの基本計画等で示している事業全体のアウトプット目標の達成にどう貢献できるのかを記載してください。

項目立てする研究開発内容について、「②事業目標」の達成に向けて必要な要素となる研究開発内容毎の達成すべき目標をその設定根拠・理由とともに記載してください。各研究開発内容の目標については、可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載してください。

# 実施計画の細目（委託事業の場合） 実施計画

・上記「④事業内容」の研究開発内容について、線表でスケジュールを記載してください。

例

【記載例】

実施項目	N1年度				N2年度				N3年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①×××の調査												
②×××の検討												
③×××の試験												
④×××の設計												
⑤×××の製作												
⑥×××の開発												
⑦×××の評価												
⑧×××の海外調査												
⑨××委員会の開催												

※調査の場合は2年分、それ以外は5年分を記載してください。

### ①事業目的

基本計画、公募要領等の内容を踏まえた上で、本提案の目的や実施意義を具体的かつ簡潔に記載してください。

### ②事業目標

本提案全体で達成すべき中間目標（性能、定量的な検討件数等）や最終目標（性能、定量的な検討件数等）等について、具体的に説明してください。中間目標及び最終目標については、その設定根拠・理由も簡潔に記載してください。

### ③事業による効果

一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、国内生産波及・誘発効果等、様々な形態を通じ、我が国の経済活性化に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。

### ④事業概要

「⑤事業内容」の概要を200～250字以内で簡潔に記載してください。

別添 1

⑤事業内容

「①事業目的、②事業目標、③事業による効果」を達成するために解決すべき技術的課題やそれを解決する手法、従来技術との比較や提案内容の技術的優位性やその根拠など、提案する研究開発内容を具体的かつ分かりやすく記載してください。

項目立てする研究開発内容について、「①事業目的、②事業目標、③事業による効果」の達成に向けて必要な要素となる研究開発内容毎の達成すべき目標をその設定根拠・理由とともに記載してください。各研究開発内容の目標については、可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載してください。

本提案で掲げる「①事業目的、②事業目標、③事業による効果」や上記の提案する研究開発内容が、基本計画等で示している事業全体のアウトプット目標の達成にどう貢献できるのかを記載してください。

取り組む研究開発内容や事業全体目標への貢献やその実現に向けた構想について、項目立てを行い、項目毎に委託先・共同研究先も含めて実施主体を明記してください。



# 実施計画の細目（助成事業の場合） 実施計画

上記「⑤事業内容」について、線表でスケジュールを記載してください。

例：

←

【記載例】 ←

実施項目 ←	N1年度 ←				N2年度 ←				N3年度 ←			
	1Q ←	2Q ←	3Q ←	4Q ←	1Q ←	2Q ←	3Q ←	4Q ←	1Q ←	2Q ←	3Q ←	4Q ←
①×××の調査 ←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
②×××の検討 ←												
③×××の試験 ←												
④×××の設計 ←												
⑤×××の製作 ←												
⑥×××の開発 ←												
⑦×××の評価 ←												
⑧×××の海外調査 ←												
⑨××委員会を開催 ←												

←

※5年分を記載してください。

# 成果の実用化・事業化に向けた計画（委託事業の場合）



成果が及ぼす波及効果、研究開発成果を実用化・事業化する計画、実用化・事業化時期、実用化・事業化能力及び戦略等を踏まえつつ、以下の各項目に従って記載してください。

## (1) 実用化・事業化を行う製品・サービスの概要

### ① 内容

製品・サービス等の内容や、事業の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるか記載してください。

### ② 製作・実施等の制約

製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。

### ③ 用途

当該製品・サービスの想定される販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。また、自らが実用化・事業化するのではない場合には、どのような形で製品・サービスが実用化されることを想定しているのかについて記載願います。

## (2) 実用化・事業化への取組

### ① 実用化・事業化に向けた計画

事業終了後5年間までの実用化・事業化を目指し実施する開発計画、提案者の実用化・事業化能力等を記載願います。事業化時点で想定する原料種・調達量やニートSAF製造量、販売コスト（ニートSAF）、各種認証（ASTM、CORSIA）等の見通しについて簡潔に記載ください。

### ② 実用化・事業化のスケジュール

上記①で記述した内容を踏まえ、実施計画を、具体的な段階に区分し、研究開発から実用化・事業化までの各段階が明瞭となるよう線表、矢印、記号等を用いて記述してください。研究開発の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

共同提案の場合、提案者ごとに作成してください。

## 1. 研究開発を行う製品・サービス等の概要

### (1)内容

製品・サービス等の内容や、研究開発の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるかを記載してください。

### (2) 製作・実施等の制約

製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。

### (3)用途(販売予定先)

当該製品・サービスの販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。

## 2. 研究開発への取組

実用化を目指す上での開発計画、実用化能力を説明記載してください。

企業化時点で想定する原料種・調達量やニートSAF製造量、販売コスト（ニートSAF）、各種認証（ASTM、CORSIA）等の見通しについて簡潔に記載ください。

助成期間終了後5年間の事業化計画を、具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記述してください。

研究開発の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

## 参考資料②

# ～提案説明書について～

**【発表資料作成の注意点】**

- (1) 全体で20枚程度
- (2) 文字サイズは原則18pt以上（個別で指定があるスライドを除く）
- (3) 白黒印刷で調整するため、背景は白基調の色
- (4) 作成時には説明書きを削除

提案テーマ名「○○○○○○○の実証事業」

2025年○月○○日(○)

○○○○○○○（法人名）

- 提案される企業名を記載してください
- 共同提案の場合、代表機関を一番上に記述し、共同提案者を下に併記してください（委託先、共同研究先は記載不要です）

# 提案者の概要



(1)提案者名

(2)従業員数 名

従業員数は提出時点を基準としてください。

(3)大企業・中堅・中小・ベンチャー企業の種別 ○○企業

(4)現在の主要事業内容(主な製品等)

現在の事業内容(主な製品等)を記入してください。

(5)資本金、売上高(直近3期分)、経常利益(直近3期分)

資本金	○○千円
売上高	○○百万円 (2023年度)
	○○百万円 (2022年度)
	○○百万円 (2021年度)
経常利益	○○百万円 (2023年度)
	○○百万円 (2022年度)
	○○百万円 (2021年度)

# 実施計画の細目（委託事業の場合）

## 事業目的・事業目標・事業概要・事業内容



### ①事業目的

基本計画、公募要領等の内容を踏まえた上で、本提案の目的や実施意義を具体的かつ簡潔に記載してください。

### ②事業目標

本提案全体で達成すべき中間目標（性能、定量的な検討件数等）や最終目標（性能、定量的な検討件数等）等について、具体的に記載してください。設定根拠・理由も簡潔に記載してください。

### ③事業概要

「④事業内容」の概要を200～250字以内で簡潔に記載してください。

### ④事業内容

「②事業目標」を達成するために解決すべき技術的課題やそれを解決する手法、提案内容の技術的優位性やその根拠など、提案する研究開発内容を具体的かつ分かりやすく記載してください。

本提案で掲げる「②事業目標」や提案する研究開発内容が、NEDOの基本計画等で示している事業全体のアウトプット目標の達成にどう貢献できるのかを記載してください。

項目立てする研究開発内容について、「②事業目標」の達成に向けて必要な要素となる研究開発内容毎の達成すべき目標をその設定根拠・理由とともに記載してください。各研究開発内容の目標については、可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載してください。

# 実施計画の細目（助成事業の場合）

## 事業目的・事業目標・事業による効果・事業概要・事業内容



### ①事業目的

基本計画、公募要領等の内容を踏まえた上で、本提案の目的や実施意義を具体的かつ簡潔に記載してください。

### ②事業目標

本提案全体で達成すべき中間目標（性能、定量的な検討件数等）や最終目標（性能、定量的な検討件数等）等について、具体的に説明してください。中間目標及び最終目標については、その設定根拠・理由も簡潔に記載してください。

### ③事業による効果

一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、国内生産波及・誘発効果等、様々な形態を通じ、我が国の経済活性化に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。

### ④事業概要

「⑤事業内容」の概要を200～250字以内で簡潔に記載してください。



## ⑤事業内容

「①事業目的、②事業目標、③事業による効果」を達成するために解決すべき技術的課題やそれを解決する手法、従来技術との比較や提案内容の技術的優位性やその根拠など、提案する研究開発内容を具体的かつ分かりやすく記載してください。

項目立てする研究開発内容について、「①事業目的、②事業目標、③事業による効果」の達成に向けて必要な要素となる研究開発内容毎の達成すべき目標をその設定根拠・理由とともに記載してください。各研究開発内容の目標については、可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載してください。

本提案で掲げる「①事業目的、②事業目標、③事業による効果」や上記の提案する研究開発内容が、基本計画等で示している事業全体のアウトプット目標の達成にどう貢献できるのかを記載してください。

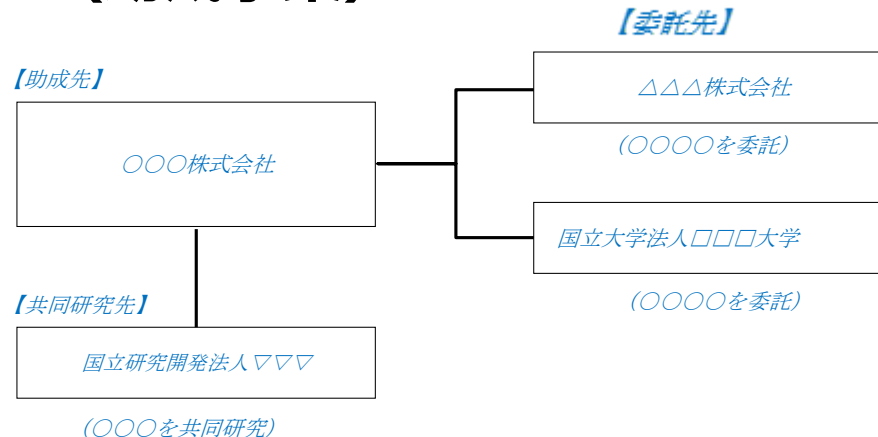
取り組む研究開発内容や事業全体目標への貢献やその実現に向けた構想について、項目立てを行い、項目毎に委託先・共同研究先も含めて実施主体を明記してください。

- ・提案する研究開発を実施する体制とそれぞれの役割を下図のように記載してください。
- ・本事業に関与する航空機の所有者又は使用者、副生物(SAF及びその他併産品)の利用者等がいる場合は、協力事業者として記載してください。

## (委託事業)



## (助成事業)



※ 共同提案の場合は技術力を有する企業等による役割分担の明確な開発体制が望ましいです。

※ 助成事業では再委託は認めておりません。

# 研究開発スケジュール

- ・研究開発のスケジュールを下表のような線表にて記載してください。
- ・同様の内容であれば下表のフォーマットに限定しません。
- ・予算は**NEDO負担額**を記載ください。

例：

	2025FY				2026FY				2027FY				2028FY				2029FY					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
●●の開発・実証 (担当：□□)		○○の開発				○○の開発				●●の実証												
●●の開発・実証 (担当：△△)		●●の開発							●●の実証													
●●の実証 (担当：△△)					●●の開発												●●の実証					
予算 (百万円)		○○				○○				○○				○○				○○				

## (委託事業の場合)

		2025FY	2026FY	2027FY	2028FY	2029FY	期間合計
委託先	〇〇株式会社	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
共同実施先	研究開発法人〇〇	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)
再委託先	〇〇大学〇〇研究室	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)
委託対象額の合計 [ ( ) 内は内数として取り扱う ]		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
N E D O 負担総額		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

## (助成事業の場合)

		2025FY	2026FY	2027FY	2028FY	2029FY	期間合計
助成先	〇〇株式会社	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
委託先	〇〇株式会社	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)
共同研究先	〇〇大学〇〇研究室	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)	(〇〇)
助成対象額の合計 [ ( ) 内は内数として取り扱う ]		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
N E D O 負担総額		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

成果が及ぼす波及効果、研究開発成果を実用化・事業化する計画、実用化・事業化時期、実用化・事業化能力及び戦略等を踏まえつつ、以下の各項目に従って記載してください。

## (1) 実用化・事業化を行う製品・サービスの概要

- ① 内容  
製品・サービス等の内容や、事業の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるか記載してください。
- ② 製作・実施等の制約  
製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。
- ③ 用途  
当該製品・サービスの想定される販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。また、自らが実用化・事業化するのではない場合には、どのような形で製品・サービスが実用化されることを想定しているのかについて記載願います。

## (2) 実用化・事業化への取組

- ① 実用化・事業化に向けた計画  
事業終了後5年間までの実用化・事業化を目指し実施する開発計画、提案者の実用化・事業化能力等を記載願います。事業化時点で想定する原料種・調達量やニートSAF製造量、販売コスト（ニートSAF）、各種認証（ASTM、CORSA）等の見通しについて簡潔に記載ください。
- ② 実用化・事業化のスケジュール  
上記①で記述した内容を踏まえ、実施計画を、具体的な段階に区分し、研究開発から実用化・事業化までの各段階が明瞭となるよう線表、矢印、記号等を用いて記述してください。研究開発の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

共同提案の場合、提案者ごとに作成してください。

## 1. 研究開発を行う製品・サービス等の概要

### (1)内容

製品・サービス等の内容や、研究開発の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるかを記載してください。

### (2) 製作・実施等の制約

製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。

### (3)用途(販売予定先)

当該製品・サービスの販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。

## 2. 研究開発への取組

実用化を目指す上での開発計画、実用化能力を説明記載してください。

企業化時点で想定する原料種・調達量やニートSAF製造量、販売コスト（ニートSAF）、各種認証（ASTM、CORSIA）等の見通しについて簡潔に記載ください。

助成期間終了後5年間の事業化計画を、具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記述してください。

研究開発の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。